

2007年6月12日

北アルプス広域連合長
牛越 徹 殿

白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会
会長 宮田 温巳
住所 〒399-9301 白馬村北城 11020

連合議会冒頭の連合長挨拶に抗議する

5月14日、白馬村の2団体（「白馬建築業組合」「白馬ごみ処理場建設推進協議会」）が「白馬村内へのごみ焼却施設建設を求める要望書」を広域連合長に提出したことが新聞報道されました。同月22日に行なわれた広域連合議会冒頭の挨拶で、貴殿はこれに触れて次のように述べています。

「ごみ処理施設建設候補地の白馬村飯森地区に関しましては、これまで、候補地の選定の経過、施設の概要や環境、景観対策等について、精力的に説明会を開催いたしました。また、建設候補地に活断層が延びているとの指摘を受けたことから、候補地東側姫川での河床調査等を実施し、その結果について、説明会を実施してまいりました。

しかしながら、候補地の発表以来、住民の一部の皆様による反対運動が展開されており、進展を見ておりません。こうした中、白馬村の2つの団体の皆様から白馬村にはごみ処理場の建設は必要不可欠との要望書を過日いただいたところでございます。広域連合といたしましては、出来るだけ多くの住民の皆様にご理解いただけるよう、最近のごみ処理施設の状況と環境対策についての講演会を実施してまいりたいと考えております。専門的な立場からの客観的なお話をお聞きいただくことで、住民の皆様のご理解が一層深まるものと期待しているところであります。そしてその後、2巡目の説明会を計画的に開催し、住民理解のもと合意形成に向けて取組みを進めてまいりたいと考えております。（後略）」

私どもは、貴殿の当会に対する故意とも受け取れる表現、ごみ問題の推移や当会の主張に対する認識の誤りなどについて下記のように反論し抗議します。

記

1. 「精力的に説明会を開催いたしました。」について

昨年8月1日以降、10ヶ月にわたって説明会が再開されていません。
当会は8月20日、広域議会に“2巡目以降の説明会を早期に行なうように広

域連合に働きかけを”との陳情を提出しました。それを審議した委員会で、連合長は「早急に再開したい」と発言したのは昨年8月のことでした。10ヶ月に及ぶ空白はとても「精力的に開催した」と言えるようなものではありません。

2. 「住民の一部の皆様による反対運動が展開されており、…」について

①「住民の一部」との表現は、過半数の住民署名を冒涇するものです。署名の重みを矮小化し、「真摯に受け止める」との発言（白馬12月議会の太田村長）とは裏腹に“行政に都合の良い解釈”にすりかえています。

②当会の候補地飯森が建設地としてふさわしくないことの主張や、様々な質問・提言を含む白紙撤回運動を「反対運動」と一言で語っているのは、広域連合が問題の本質を意図的に封じ込めようとする不適切な表現です。

これでは、私どもが「ごみ処理施設建設に反対しているだけの団体」との誤解を招きかねません。「建設計画の一時凍結を」「住民・専門家を交えた仕切り直しを」（昨年10月25日付け提言）に対する認識がかようなものであることに対して、白馬村の住民は決して理解を示さないでしょう。

重ねて申し上げますが、私どもは「ごみ処理施設は必要ない」との主張はしていません。

3. 「広域連合といたしましては、出来るだけ多くの住民の皆様にご理解いただけるよう、最近のごみ処理施設の状況と環境対策についての講演会を実施してまいりたいと考えております。専門的な立場からの客観的なお話をお聞きいただくことで、住民の皆様のご理解が一層深まるものと期待しているところであります。」について

その後さらに明確になった“候補地飯森が不適地”であることの問題点を置き去りにしたまま、次の段階に進もうとの考えは広域連合のご都合主義で、そこには住民と一体となって循環型社会を推進しようとの姿勢が感じられません。

誰の目から見ても“候補地飯森で強行突破を図ろう”“少なくとも白馬村に建設を”との広域連合の意図が容易に推察できます。民意を無視してまで条件の悪い飯森にこだわるのが、それほど重要なことなのでしょうか。

貴殿は、今までの住民説明会の延べ参加人数が1000名であったのに対して、白紙撤回の住民署名が5000名に近づかんとする数字である現実をもっと直視してください。

以上

〈追記〉

当会から貴殿に提出している下記文書に対する回答が滞っています。

上記連合議会での挨拶によれば、13日の講演会後には2巡目の説明会を開催し、その後直ちに何らかの方法で飯森候補地問題に結論を出そうとの意図が明瞭です。私どもの質問は、いずれも村民の知る権利を護るための重要な内容と認識していますので、一刻も早く誠実な回答をお願いします。

特に、5月23日要請文書にある私どもと広域連合正副会長との意見交換会は、3月下旬から事務レベルで要請し続けてきたものですので、住民説明会が再開される前には必ず実現できるよう強く要請します。

2008/4/5	(原山教授宛) 3月17日の住民向け説明会の報告内容に関する質問—公開質問状—
2008/4/9	「住民説明会における活断層確認調査報告内容に関する意見書—私どもの見解—」質問2項目
2008/4/28	「観光客アンケート結果」に関する公開質問状 ごみ処理施設建設費についての公開質問状
2008/5/23	「新ごみ焼却施設建設問題」解決に向けた意見交換会の要請と質問

*4月5日付の公開質問は原山教授に直接郵送をお願いしているものですが、広域連合嶺村所長の言によると「広域連合経由で回答する」(4月28日会談時)とのことでしたので、ここに付け加えました。